

巻頭言

ある日の出来事

いぶき施設長

刑部 隆一



午前中の作業が終わり、食堂でお昼ご飯を食べていると、自立援助ホームの職員が「牛、出産しそうだよ」と玄関から声をかけてきました。「えっ・・・何・・・見に行こうか」といぶきの利用者達は、食事の途中ではあるのですが牛舎に駆けつけます。そこには、お尻からドロドロしたものが出てきている牛がいます。なんだか、苦しそう・・・落ち着かない様子です。「どれくらいで生まれるの?」「これからどうなるの?」と尋ねる者、目を輝かせたり、逆に目を背けたり、いぶきの利用者達は、さまざまな反応を見せます。しばらく見守っていましたが、状況が膠着し、「もう少し、時間かかりそうだな・・・」とりあえず、食事を済ませて出直そうという事になります。私は、昼食を食べ終え、お茶を飲んで、のんびりしていました。そこに。「刑部さん、牛を引っ張ってるんだけど・・・なかなか出てこない。ちょっと来て」と、数名の利用者が呼びに来ました。おっ・・・そんな展開になっていたのか、じゃあ行くとしますか・・・急いで、作業着に着替えて現場に向かいます。急いで行ったのですが、「あれ」もう出産は終わっています。無事に出産して、母牛が、子牛をペロペロ舐めています。どうやら、自立援助ホームの職員と寮生、一部のいぶきの利用者も手伝い、事が済んだようです。子牛は、必死に立ち上ろうとしています。上手いかずにもがいています。皆でその様子を見守り、応援します。皆、この出

来事から様々なことを感じとります。この体験こそが、「命を育む、生きた体験なのです。見て、聞いて、嗅いで、触って」ここには、リアルな体験が身近にあります。とても贅沢な環境なのだと改めて感じた出来事でした。

さて、午後の作業が始まります。出産の余韻が残っていますが、気持ちを切り替えて次の行動に移ります。馬、子牛のフン掃除、羊毛製品の製作など、皆それぞれの持ち場に入ります。しばらくすると私は、羊毛の製品の在庫が増えてきたな～冬場はイベントが少ないから、どうやって売ればいいのか・・・などと考えています。16時いぶきの日課が終わります。子牛は、立ち上がろうとしています。まだ立てていません。どうなるのかな、と気にしながらいぶきの利用者達は帰っていきます。次の日、出勤すると子牛は立ち上がり、歩いています。皆、その姿を見て、安心して、ちょっと勇気をもらいます。まさに「命を育む、生きた体験」なのです。でも・・・利用者の中には、そんな様子を見に来ない方もいます。動物が好きではない、関心を持たない人もいるのです。「あれ」とちょっとだけ思ってしまうのですが、よく考えてみると、上記の「命を育む、生きた体験」は、私の思いなのです。押し付けになってはならない、それぞれの感覚、タイミングがあるのではないのでしょうか。障害があつたり、個性的であつたり、人の話を聞かなかつたり、すぐに怒つたり、いろいろな人がいるいぶきですが、お互いに認め合い、楽しくいられるように、職員も利用者も共に成長していけたら良いと願っています。

もうすぐ2年目のいぶきは、4月には15人ほどの集団になる予定です。新しいメンバーも加わります。どんなことが起こるか、いろいろ楽しみです。



職員
の声

医療通訳の石本さん

こひつじ診療所 精神保健福祉士

小口 明日香

こひつじ診療所には医師の他にいろいろな役割を担った職員が働いています。看護師、臨床心理士、教員、医療通訳、精神保健福祉士、事務がいます。それぞれの職員が多面的に患者様やご家族に関わっています。今回は医療通訳を担当している「石本末子さん」についてご紹介します。

石本さんは、今年度4月からポルトガル語の医療通訳をして勤務されています。医師による診察や心理検査での通訳はもちろん、心理士によるカウンセリングでの通訳、電話での予約受付を行っています。石本さん自身が患者様やご家族との面談や電話での相談も受けています。4月から常勤で石本さんがいることで、ポルトガル語圏の患者様からの問い合わせが格段に増えています。今までは、日本の幼稚園や学校に所属しているお子さんのことで学校の先生が希望されて受診にいたる場合がほとんどでした。また診察は片言でのやりとりになったり、患者さん自身が少ないお金で通訳を頼んでいる場合も多くありました。継続した診察を希望しても、通訳を雇う余裕がなく中断してしまうケースもありました。しかし、現在は「医療通訳の石本さん」のことが広まり、ブラジル人学校に所属して

いるお子さん、お子さんの発達や精神面を心配している親御さん、成人の方で精神面の不調を抱えられている方など幅広い方が受診を希望されています。

診察の中で言葉がきちんと伝わること、文化の違いを知ることで、私たち職員も患者様やご家族の置かれている状況をより理解することができます。言葉の壁や文化の違いを知らないことで誤解を生んでしまうこともあります。そういった場合に、石本さんが双方の文化を理解したうえで、正確に通訳してくださるので、患者様も私たちも安心してお話ができます。また石本さん自身のこれまでの教育現場における経験を活かし、直接相談業務を担っていただけることも、大変心強いです。

ポルトガル語圏の外国籍の方の人口が増加しています。来日されている方の多くは若い方で、就学、就労、結婚、妊娠、出産、子育てという過程を過ごされます。石本さんからブラジルの文化や外国籍の方の置かれている状況について少しずつ学びながら、受診してくださるみなさんと向き合っていきたいと思います。



石本夫妻と共に(筆者は中央) —職員家族感謝デーにて—

2019/05/25

離任
挨拶

ありがとうございました。

東海教区 教区長
栄光教会 牧師

内藤 文子

緑の大地の恵を受けて

東海教区に長くいた私は、デンマーク牧場の自然に、「いやしを与えられたなあ！」と、感謝しています。

児童養護施設「まきばの家」の開設当時、保育士として関わったときは、毎日牧場の羊さんに子どもたちと餌をあげて、野原をお散歩しました。子どもたちも動物とのふれあいの中で、心を開いていったように感じました。

けれど自然はやさしいだけではなく、厳しさの中、格闘することも多いですね。ヨーグルトや牛乳はそんな中から生まれてくれた恵ですね。デンマーク牧場福祉会の上に神様の見守りを祈ります。

先日、牧場に来たばかりの「ミニチュアホース」の2頭と会いました。かわいいこと！のびのび過ごしてほしいです。また会いに来ますね。

これまでの暖かいお交わりを、皆様に感謝いたします。

教区 社会・奉仕部長
静岡教会 牧師

富島 裕史

私が神学生するとき、夏休みを利用して伊藤文雄先生のご指導のもと、数名の神学生と福祉コースの学生と共に梅ヶ島キャンプ場、新霊山教会とデンマーク牧場でワークキキャンプをしましたが、このときのことが忘れられません。

自然の中で、とても楽しく作業をさせていただいたことを覚えています。そして、その場所に牧

師になって再び戻り、ご奉仕をさせていただいたことに、神さまのご計画の不思議さを感じていました。

私は一年間、静岡英和女学院の聖書の授業を受け持ったことがあります。とても楽しい経験でした。今年3月、そのときの生徒たちは高校を卒業します。そして私も、この生徒たちと同じように、この3月、静岡教会、東海教区の社会・奉仕部長の働きを卒業することになりました。これまで福祉村の活動を支えてくださいました皆さまに心から感謝いたします。

ありがとうございました。

デンマーク牧場福祉会
チャプレン
新霊山教会 牧師

森田 哲史

この度、熊本の大江教会に転任することとなりました。新霊山教会、デンマーク牧場福祉会での働きは2年間と非常に短い期間となっしまい、私自身申し訳なさと、中途半端な形で袋井の地を離れることに悔しさを感じています。

日本のルーテル教会の中で、おそらく最も自然に囲まれているだろうこの地で学んだことは計り知れません。豊かな大地から与えられたたくさんの恵み、時に私たちに襲い掛かる自然の恐ろしさ。これまでの私の人生で経験したことのないことばかりでした。

牧師としての歩みの始まりが、新霊山教会、デンマーク牧場福祉会であったことは、とても大切なことでした。私は一時この地を離れますが、これから先の長い牧師人生の中で、再び用いられることもあると信じています。その日まで牧師としての研鑽を積んでいきたいと思ひます。



福祉村のために、篤いお祈りと貴重な献金を心より感謝申し上げます

「福祉村募金」献金者（敬称略） 2019 年 11 月～2020 年 2 月

個人

石田喜久子〔福山市〕 勝部 哲〔蒲田〕 川口誠・京子〔湖西市〕 坂巻隆男〔小布施町〕 白川道生・知子〔佐賀〕
 相馬和美〔日キ藤沢〕 徳永一三〔大阪市〕 中林靖子〔日キ仙川〕 平松英治〔アッセンブリーズ〕 宝珠山清子〔日吉〕
 藤井邦夫・貴子〔宇部〕 山之内正俊・初枝〔合志〕 角田 健、中村圭助〔引退教職〕 小野エミコ、西野孝枝
 宮崎典子、望月隆延、山本美智代〔清水〕 鈴木暁美、鈴木春江、中井弘和・奈津子 芳賀直哉・美江
 〔小鹿〕 池谷益代、伊藤七男・初枝、加藤敏明、宗 美江、富島裕史、永井滋乃、原 宏・ふじ子
 船城秀樹、宮武晴昭〔静岡〕 大柴 潔、川村千代江、片川三枝子、柏田憲吾・篤子、金高美江子、櫻井
 隆・國江、菅野君江、杉本光子、内藤文子、沼野寿子、増田悦次・芙蓉子、水野喜朗・禮子〔栄光〕
 山内浩子〔掛川菊川〕 鈴木敏雄、寺嶋豊司・文世、中川和子〔新靈山〕 石田宏美、遠入美智子、川崎昌弘
 小松康宏、長坂美希代、福岡美恵子、船曳富久子〔岡崎〕 神谷佳世子、杉浦家、柘植フサ子、西澤家
 丹羽康裕、深川育子〔刈谷〕 宮澤真理子〔岡崎・刈谷〕 梅村亜恵、本田聡子〔挙母〕 厚味 勉・敦子、伊賀
 佐與子、磯村久市・和子、鯉江文子、武居良美、花城裕一朗〔知多〕 市川 旬、一ノ瀬彦治・安子
 伊藤由紀子、今枝隆久・有里子、井森悠子、磐田真理子、植下眸子、内河恵一・眞知子、大野捷二・
 比奈子、菊池 敏・幸子、ケネス ロビンソン・小坂敦子、坂井茂子、塩田 浩、嶋 昭江、末竹十大
 真木雅子、西尾三郎・和子、野間 實、早川 毅・律子、堀 育美、村松正義・美那子、吉田玲子
 〔なごや希望〕 石川吏志・美代子、犬飼通之・佐智子、大野信雄・良子、小澤周平・実紀、小原春子
 神崎 昇・悦子、岸 享子、木村敦子、黒野正信・春枝、白井美枝子、杉浦良一、鈴木光治・喜美子
 高田弘子、田村辰夫・勝子、鳥飼勝隆・豊子、永津浩哉・睦子、深谷昭治・節子、福本壽子、藤田
 房子、藤原 薫、宗像昭彦・玲子、安井則夫・芳子〔名古屋めぐみ〕 大岡よし江、太田立男・泰子、小野田
 久子、小出聡子、詫間裕子、ナピリナス香保子、前田有美、山縣由喜子〔復活〕 浅井道子、生駒順子
 稲垣八重子、甲斐亜希、勝田周子、斎藤志げみ、中村瑞代、長谷川善造、松宮ひびき、松宮洋子
 安田久夫・チヨ子、山下裕子〔高蔵寺〕 小川佳代子、小田博久・泉、神辺泰子、河村満恵、坂元のぶ江
 佐藤祥一、羽賀敬子〔岐阜〕 秋田明子、秋田義彦、大場弘子、大脇美津子、岡田敦子、小坂恵子
 齋藤幸二・末理子、柴田るみ子、鈴木輝一郎、千田知栄、田口道治・和子、安井順子〔大垣〕 匿名

団体

大分教会、大分教会女性の集い、賀茂川教会、札幌ルーテル幼稚園、志太榛原一致祈祷会、女性会
 連盟、都南教会、沼津教会、栄光教会、栄光教会焼津女性会、浜松教会、刈谷教会、挙母教会、知多
 教会、なごや希望教会（全聖徒国際礼拝）、箱舟保育園、東海教区女性会、尾張岐阜地区宣教委員会

福祉村募金振込先（郵便局） 口座番号 00800-2-98186 福祉村委員会

2019 年度の募金合計額は、4,370,487 円でした。本教会への返済は、計画通りにいけば、あと 3 年
 となりました。社会福祉法人「デンマーク牧場福祉会」は、皆様方のお祈りに支えられ、神様のお導
 きとお守りによって、地域の中で人々に喜ばれる施設として確かな歩みを続けています。これからも
 皆様方のお祈りとお支えを宜しくお願いいたします。（福祉村委員会会計 櫻井國江）

編集後記 新型コロナウイルスによって多くの方が感染し、亡くなられた方もおられます。その影響は
 いろいろな所に及んでいます。はやく終息し、皆様の健康が守られますように心からお祈り申し上げま
 す。教会の暦では四旬節、受難週、そして復活祭（イースター）と続きます。キリストの十字架を仰ぎ
 見つめ過ごしていきましょう。（T）